

1. 上尾市の計画方針

上尾市では上尾市教育振興基本計画を定めており、『夢を育み、未来を創る、上尾の教育』を基本理念に上尾市学校施設更新計画基本計画を策定しております。

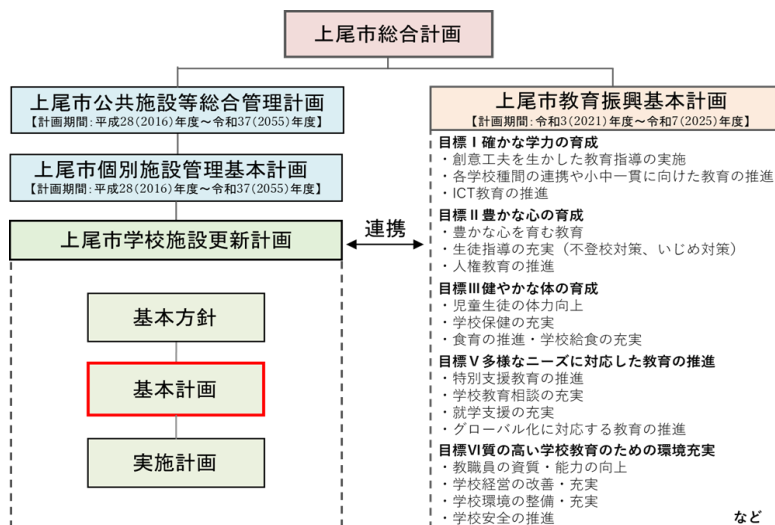
上尾市教育振興基本計画では、ソフト面とハード面の目標を掲げ教育行政を推進するとともに、この目標と連携する形で上尾市学校施設更新計画を定め、市を挙げて老朽化の進む学校施設の更新を進めているところでございます。

■ソフト面：

教育内容の充実、いじめ対策、
家庭や地域との連携強化 など

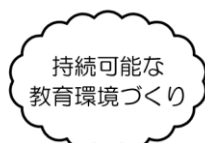
■ハード面：

学校施設の整備、ICT環境の整備
快適な学習環境づくり など



2. 計画のコンセプト

学校施設更新計画では、持続可能な教育環境づくりをコンセプトに3つの方向性を掲げております。



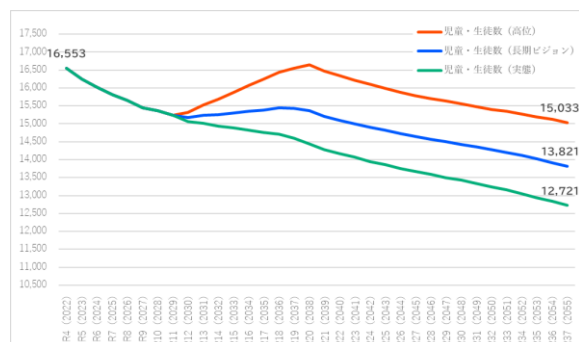
方向性1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり〈教育環境の整備方針〉

方向性2 子どもたちの学びに望ましい学校規模の維持〈学校規模の適正化方針〉

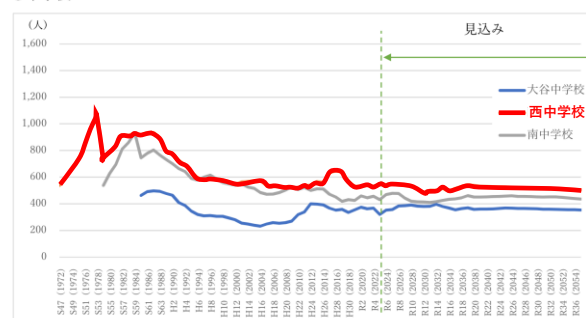
方向性3 計画的・効率的な学校施設の更新〈学校施設の更新方針〉

3. 人口

上尾市では児童生徒数が減少しており、高位、長期ビジョン、実態全てで、右肩下がりとなる推計となっております。西中学校の生徒数は、平成6年以降は概ね横ばいで推移し、令和37年には500人程度と見込まれます。



○中学校



図表 2-16 大谷地区 生徒数推移と見込み（1972～2055年）

4. 建物

建物について、1970年代に建設した棟は建築後50年程度経過しており、表のように老朽が進行している状況です。加えて、ICT教育の推進により、一人一台端末を用いた授業への転換など、大きく教育の行われ方が変化している状況でもあります。そこで、児童生徒の推移推計や建物劣化状況、教育の変化に鑑み、学校施設の更新を行うにあたっての基本的な考えをしめした、学校施設更新計画を策定し、現在その推進をスタートいたしました。

※ 構造欄の「RC」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造を示す。
※ 着色部分(桃色)は建築年数40年以上の建物を示す。

西中学校：建物基本情報

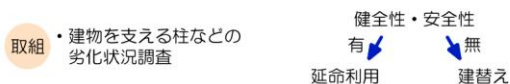
建物名	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築年数
管理・北校舎	RC	2,884	S46	55
南校舎	RC	1,882	S49	52
金工木工 特別教室	S	243	S46	55
体育館	RC+S	770	S48	53
格技場	S	459	H5	33
給食室	RC	175	S51	50

5. 施設整備の4つのキーワード

配置計画の際には、どの計画もこの4つのキーワードを軸に検討をおこなっております。

安全・安心な学校

① 学校施設の更新による安全・安心な教育環境の確保



② 避難所としての学校施設の活用



安全・安心な教育環境、地域コミュニティの拠点（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告



地域の避難所としての防災機能の強化（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告

新しい学びに対応した学校

① 新しい学びに対応した教育環境・設備を備えた学校への改築

- 取組
- 変化に対応する柔軟性・可変性のある施設整備
 - 多様な学習活動を展開できる教室空間を検討
 - 設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開、教室環境の充実
 - 教職員の働き方改革を推進し、校務等の能率を最大化するための執務空間を検討
 - インクルーシブ教育システムの構築

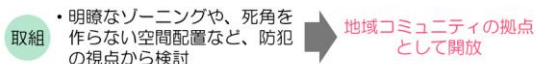


多様な学習活動を展開できる教室空間（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告



地域に開かれた学校

① 学校と地域が連携・協働していくための空間整備



② 地域コミュニティ拠点となる施設の複合化



木材を利用し温かみのあるリビング空間（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告



多様な活動ができる空調設備のある体育館（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告

快適な学校

① 空調設備の充実や脱炭素社会の実現に向けた環境整備

- 取組
- 空調設備の充実
 - 省エネルギーや再生可能エネルギーの導入

② 学校を利用する全ての人に配慮した環境整備

- 取組
- ユニバーサルデザインの採用
 - バリアフリー化
- 利用者全てに優しい学校施設



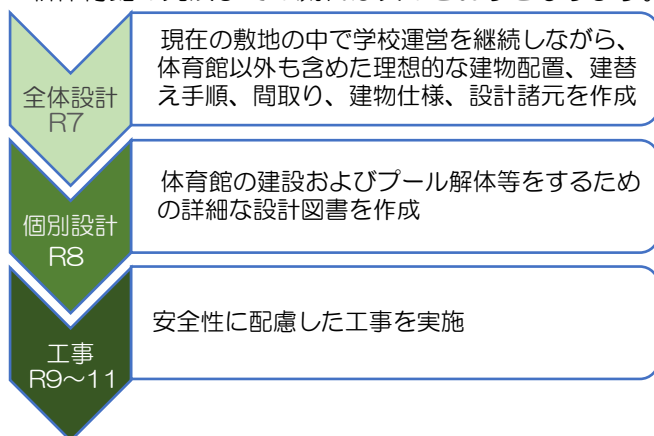
太陽光発電設備を導入し環境教育に活用（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告



学校施設の木質化（イメージ）
出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告

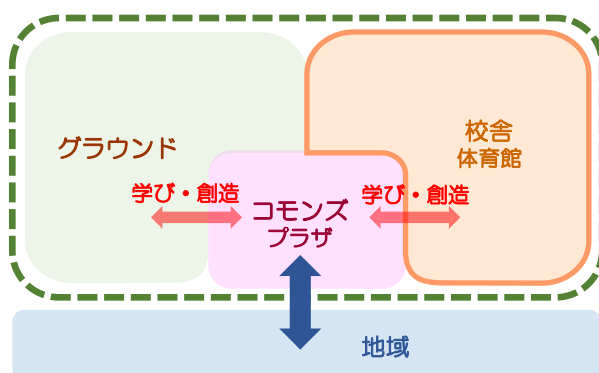
6. スケジュール

新体育館の完成までの流れは次のとおりとなります。












7. これからの学校づくり

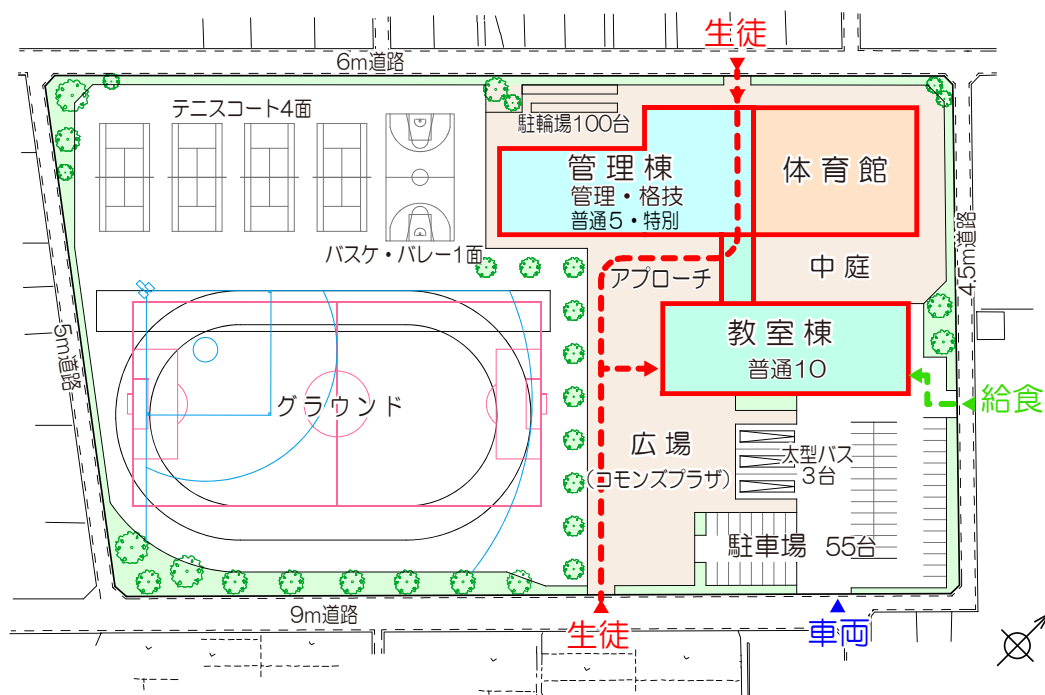
『地域と育む、共創commons』を特徴とした配置計画をおこなっております。屋外広場のcommonsプラザで地域と学校が連携し共に創る共有地点となります。



配置検討（A案）

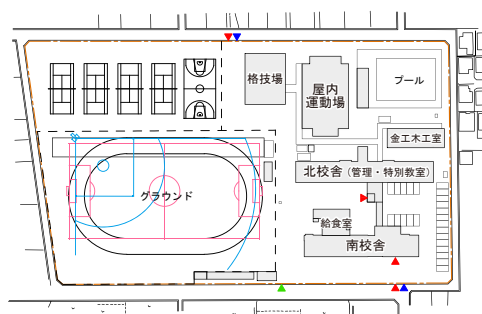
■配置計画の完成イメージ

■凡例	
	新体育館・特別教室
	新管理・普通教室・特別教室・格技場
	新普通教室
	生徒動線
	生徒出入
	教職員等車両動線
	教職員等車両出入
	給食車両動線
	給食車両出入

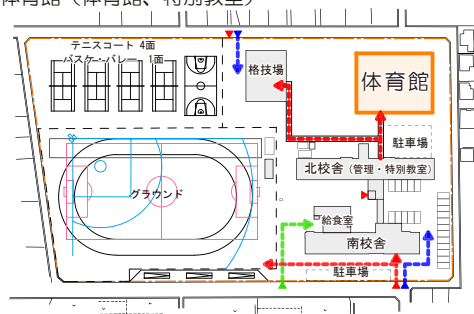


■工事ステップの概要（予定）

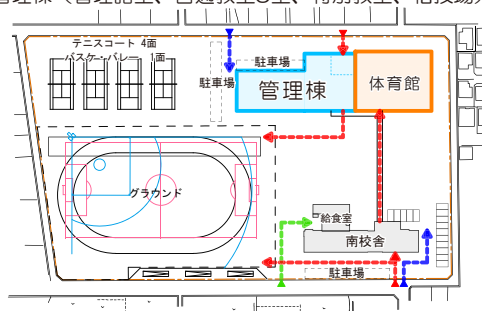
①現況



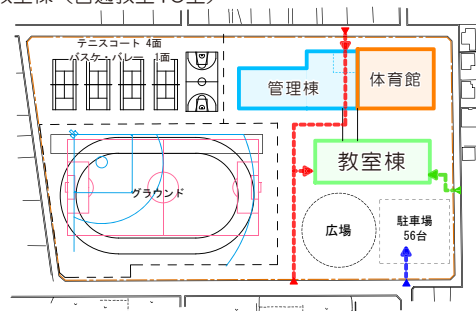
②Ⅰ期工事完了時（令和11年頃） 体育館（体育館、特別教室）



③Ⅱ期工事完了時（令和30年頃） 管理棟（管理諸室、普通教室5室、特別教室、格技場）



④Ⅲ期工事完了時（令和33年頃） 教室棟（普通教室10室）



■計画の特徴

<良い点>










- ・体育館から校舎は集約した棟配置であり、管理棟、普通棟とも行き来がしやすい。
- ・生徒が利用する南東門および北西門と車両の出入口を分離しており、9m道路に面して駐車場も全台数をまとめて配置している。
- ・学校機能を維持しながら工事をする計画は、校舎等内部についてもグラウンド等外部についても支障が少ない計画である。

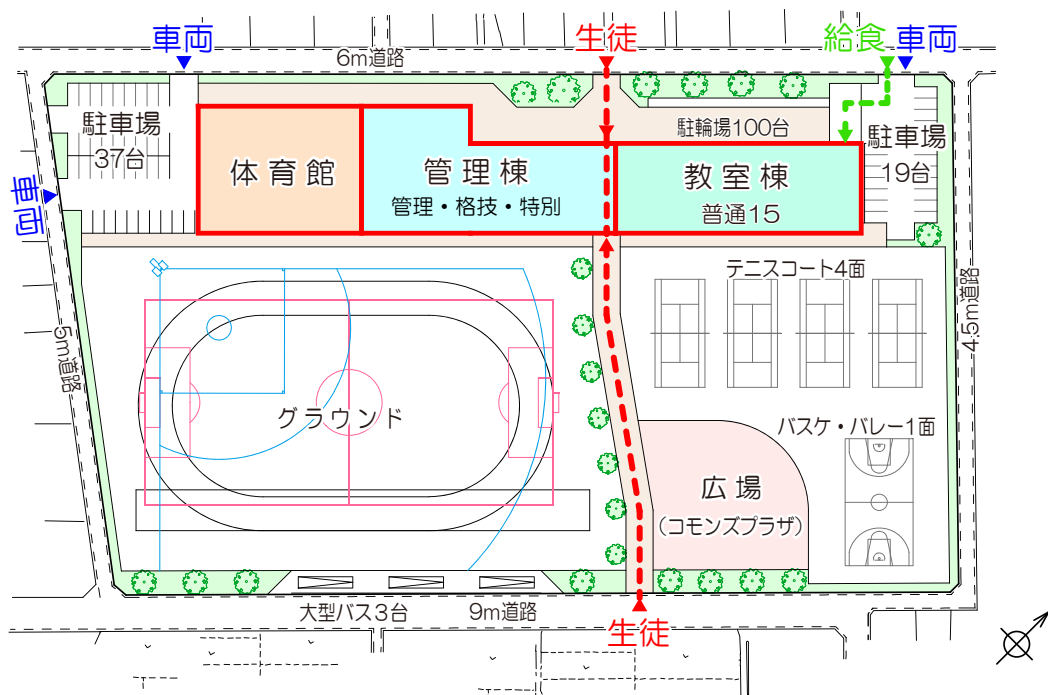
<懸念点>

- ・体育館がグラウンドと隣接していない為、内外の運動施設としての連携は難しい。
- ・体育館・特別教室等が住宅に近接するため、騒音対策に配慮する。
- ・工事中の生徒の動線は、最終段階まである既存南校舎が新体育館と新管理棟までの距離が遠く、仮設渡り廊下の期間もあり、安全面の配慮も必要である。

配置検討（B案）

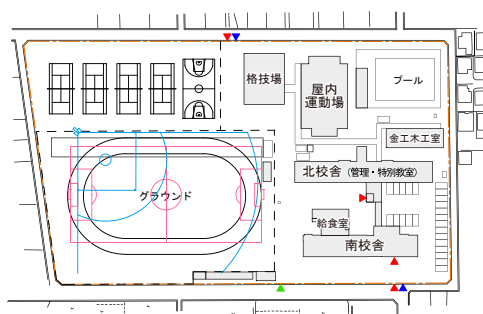
■配置計画の完成イメージ

■凡例	
	新体育館・特別教室
	新管理・特別教室・格技場
	新普通教室
	生徒動線
	生徒出入
	教職員等車両動線
	教職員等車両出入
	給食車両動線
	給食車両出入



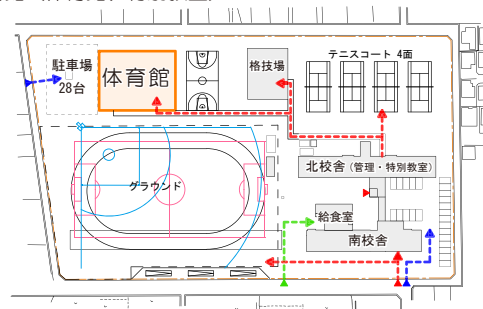
■工事ステップの概要（予定）

①現況



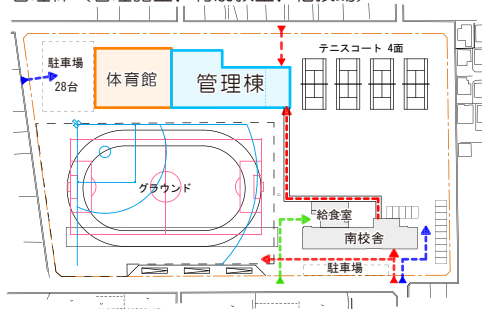
②Ⅰ期工事完了時（令和11年頃）

体育館（体育館、特別教室）



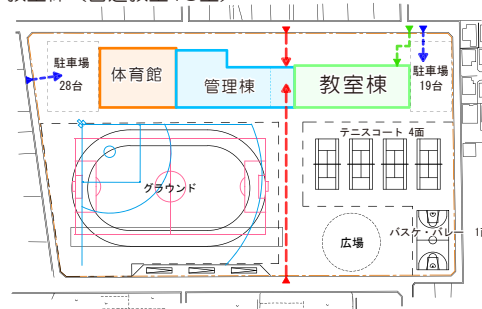
③Ⅱ期工事完了時（令和30年頃）

管理棟（管理諸室、特別教室、格技場）



④Ⅲ期工事完了時（令和33年頃）

教室棟（普通教室15室）



■計画の特徴

＜良い点＞






- ・体育館がグラウンドと隣接している為、連携した利用がしやすく、駐車場にも隣接しており、地域住民も利用しやすい位置である。また、災害時の避難所としても各所の連携に有効である。
- ・体育館と管理棟、普通棟は平行して一列配置に南側のグラウンドに面しているので、良好な南面採光と広い視界が確保されている。
- ・生徒が利用する南東門および北西門と車両の出入口を分離しているため、生徒の動線と給食及び来校者等車両の動線が交差しない。

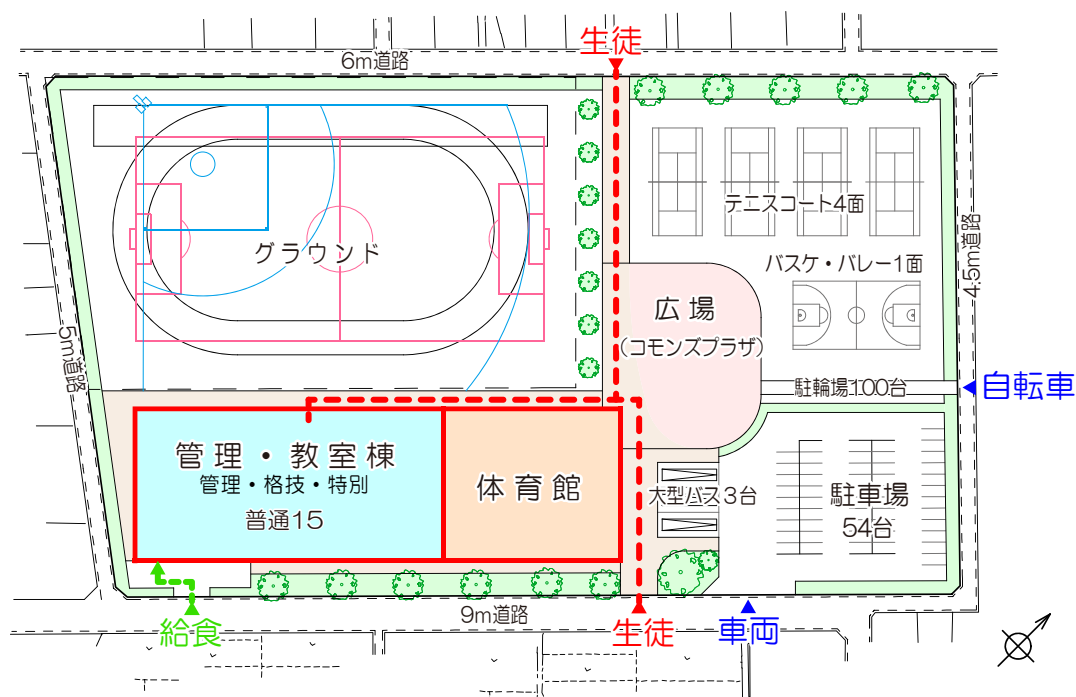
＜懸念点＞

- ・体育館、特別教室等が住宅に近接するため、騒音対策の配慮を要する。
- ・Ⅰ期工事完了時の新体育館は、既存北校舎と南校舎から離れた位置の為、仮設渡り廊下の期間も含め、安全面の配慮を必要とする。
- ・工事中にテニスコートが2面になる時期があるほか、バスケ・バレーコートを確認できない時期がある。

配置検討（C案）

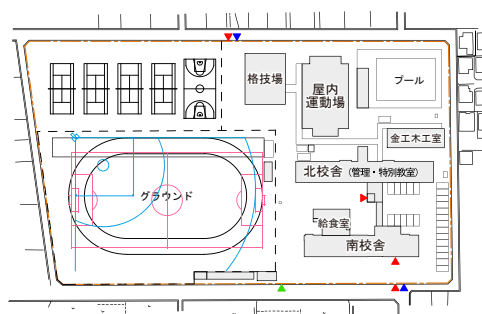
■配置計画の完成イメージ

■凡例	
	新体育館・特別教室
	新管理・普通教室・特別教室・格技場
	生徒動線
	生徒出入
	教職員等車両動線
	教職員等車両出入
	給食車両動線
	給食車両出入



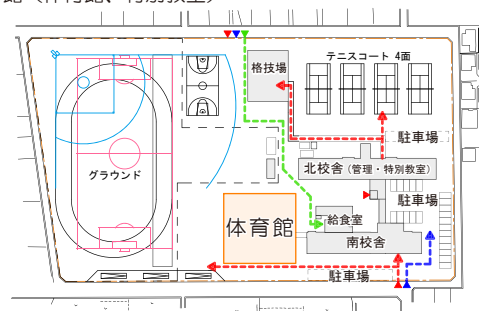
■工事ステップの概要（予定）

①現況



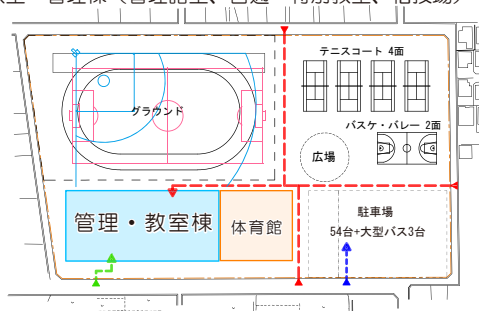
②Ⅰ期工事完了時（令和11年頃）

体育館（体育館、特別教室）



③Ⅱ期工事完了時（令和31年頃）

教室・管理棟（管理諸室、普通・特別教室、格技場）



■計画の特徴

<良い点>

- ・体育館がグラウンドと隣接している為、連携しやすく、駐車場にも隣接しており、地域利用での屋内運動や集会に使いやすい位置である。また、災害時の避難所としても各所の連携に有効である。
- ・体育館と管理棟、普通棟を一体的な校舎プランとなる為、日常における各棟への往来にも使いやすい位置である。
- ・北側に教室を配置した場合でも、グラウンドに面することで、広い視界と安定した採光が確保される。
- ・生徒が利用する南東門および北西門と車両の出入口を分離しており、9m道路に面して駐車場も全台数をまとめて配置している。

<懸念点>

- ・工事中にテニスコートが2面になる時期がある。
- ・工事中にグラウンドが移動する時期が2回ある。
- ・新体育館工事範囲と既存南校舎が近接している為、工事中の安全等の配慮が必要である。